

令和7年3月定例教育委員会議録

1. 日 時 令和7年3月6日(木)午後3時30分
2. 場 所 泉佐野市役所4階 庁議室
3. 出席委員
- | | |
|----------|---------|
| 教育長 | 奥 真弥 |
| 教育長職務代理者 | 山下 潤一郎 |
| 委 員 | 中村 スザンナ |
| 委 員 | 甚野 益子 |
| 委 員 | 石崎 貴朗 |
| 委 員 | 谷口 朋 |
| 委 員 | 形部 博紀 |
4. 説明のために出席した職員の職、氏名
- | | |
|---------------------|-------|
| 教育部長 | 木下 隆 |
| 教育部理事 | 檜葉 浩司 |
| 施設担当理事 | 中野 康 |
| 日本遺産推進担当理事 | 中岡 勝 |
| 読書活動推進担当理事 | 大引 要一 |
| 学校給食担当理事 | 田中 伸宏 |
| 泉州国際マラソン担当理事 | 山路 功三 |
| 教育総務課長 | 鍵埜 和弘 |
| 教育総務課教職員担当参事 | 山岡 史賢 |
| 教育総務課夜間中学校担当参事 | 本道 篤志 |
| 学校教育課長 | 長田 龍介 |
| 学校教育課学校指導担当参事 | 辻本 武司 |
| 学校教育課人権教育担当参事 | 渡辺 健吾 |
| 生涯学習課読書活動推進担当参事 | 細矢 祥代 |
| 青少年課長 | 洞 義浩 |
| スポーツ推進課泉州国際マラソン担当参事 | 池田 秀明 |
| (庶務係) 教育総務課総務係長 | 室 拓二 |
5. 本日の署名委員 委 員 甚野 益子

議事日程

(報告事項)

- 報告第6号 教育委員会後援申請について
報告第7号 教育委員会後援実施報告について
報告第8号 泉南地区教職員組合要求書に対する回答について (教育総務課)
- 議案第2号 教育に関する事務の点検及び評価報告書について (教育総務課)
議案第3号 教職員の人事異動について (教育総務課)
議案第4号 泉佐野市就学援助費支給要綱の一部改正について (学校教育課)
議案第5号 令和7年度泉佐野市教育委員会重点施策について (学校教育課)

(午後3時30分開会)

奥教育長

ただ今から令和7年3月の定例教育委員会議を開催します。

本日の傍聴はございません。

委員全員が出席をされておりますので、会議が成立しております。

本日の会議録署名委員は甚野委員にお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

それでは、本日の審議に入ります前に、2月定例教育委員会議の会議録についてご確認をお願いいたします。委員の皆様で何かお気づきの点がありましたら、お願いいたします。

無いようでございますので、会議録の確認は終了させていただきます。恐れ入りますが、石崎委員は後ほど署名をお願いします。

それでは本日の審議に入りたいと思います。

はじめに報告第6号「教育委員会後援申請について」を議題といたします。報告をお願いします。

鍵埜教育総務課長

教育長専決により教育委員会の後援名義使用を承認した事業について、報告資料6に基づいて説明。

新規4件、継続8件、計12件の事業内容について一括で報告。

奥教育長

ただ今の報告について、ご意見ご質問がございましたらお願いします。

大引読書活動推進担当理事

お詫びを申し上げます。1番上の「スポGOMI」でございますが、こちらの開催日は令和7年4月12日ですが、募集期間が3月1日から29日までとなっており、既に募集が始まっております。本来であればもう1ヶ月早く申請をいただく形となりますが、私どもの方で見過ごしておりました。今後はこのようなことがないように充分注意してまいります。申し訳ございませんでした。

奥教育長

今後は気を付けてください。

甚野委員

継続2件目の「TOSS 春の教師力UP フェス」につきまして、これは希望する先生方が参加する行事で、必修ではないですよ。また、内容について、特定の科目に絞った指導方法のお話があるのか、または一般的な指導方法についてお話があるのか教えてください。

長田学校教育課長

甚野委員のおっしゃる通り、必修ではなく任意での申し込みになります。内容につきまして、3月は「全国一斉教材活用術&授業力向上セミナー」が実施され、こちらは教材の選択についての講座となっております。4月は「絶対に成功する学級作り・授業作り 新学期 黄金の三日間」が実施され、こちらは新学期最初の三日間に取り組むべきことについて12講座が開催されます。5月は「医教連携 発達障害対応レベルアップセミナー」が実施され、医学と教育の連携について、医師による講演が行われる予定となっております。

甚野委員

それぞれの開催日毎にテーマがあり、それについて話されるということですね。

長田学校教育課長

その通りです。

甚野委員

ありがとうございます。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

中村委員

継続4件目の「5月度公開例会（第16回わんぱく相撲泉佐野大会熊取場所）」に関連して、先日テレビ大阪で放送された「大阪43市町村を大調査！誰も知らんキング」で「泉佐野市 vs 泉南市」という特集があり、録画して見ていたところ、泉佐野に住む男の子が出演されていました。名前はちょっと覚えていませんが、高石市の道場に通っている大きな体の男の子で、近畿で1位とか、優秀な成績を収めた子が出演していました。1月の教育委員会表彰式にはお見かけしませんでした。来年度に表彰されるのでしょうか、それともご辞退されたのでしょうか。あれだけの優秀な子が放送されていたので、ちょっと質問してみました。

奥教育長

佐野台小学校の子ですね。

檜葉教育部理事

佐野台小学校の河村 清一郎さんですが、JOC ジュニアオリンピックカップ第37回全日本小学生相撲優勝大会・5年生の部で準優勝されています。年明けに報告に来られたので、表彰の締め切りに間に合えば、表彰される可能性が高かったかと思います。ただ表彰されるにあたって、自己申告いただく形になっており、また秋から年末の間に大会がありましたので、自己申告いただいても今年度の表彰には間に合わなかった可能性もございます。市長の方にも準優勝の報告にいらっしゃって、来年は優勝目指して頑張りますとおっしゃっていました。

中村委員

楽しみにしております。

甚野委員

教育委員会表彰について、募集はありますが、自分や周りの先生方から申し込みをしない限り、表彰の対象とならないシステムになっています。たとえ優勝したとしても、自己申告しなければ、表彰式には出られません。

中村委員

テレビを通じて泉佐野市が宣伝されていたので、微笑ましく、よかったなと思いました。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

継続5件目の「HEART Global ミュージック・アウトリーチツアー2025 夏 in 泉佐野」について、これは昔ヤングアメリカンズという名前でしたよね。

大引読書活動推進担当理事

おっしゃる通りで、元々ヤングアメリカンズという名前でした。NPO 法人じぶん未来クラブが主催しており、HEART Global という名称に変わっておりますが、パンフレットにはヤングアメリカンズのこと記載されています。

奥教育長

今でもヤングアメリカンズの名前は残っているのですね。わかりました。

他にございませんか。

無いようでございますので、以上で報告第6号を終わります。

次に、報告第7号「教育委員会後援実施報告について」を議題といたします。報告をお願いします。

鍵埜教育総務課長

報告第7号「教育委員会後援実施報告について」ご説明いたします。

報告資料7「教育委員会後援実施報告一覧表」をご覧ください。

報告件数は今回10件でこれらは以前に教育委員会で後援承認したものであり、実施報告ということで、報告資料7をもって報告にかえさせていただきます。

奥教育長

ただ今の報告について、委員の皆様でご意見ご質問がございましたらお願いします。

中村委員

8件目の「体の使い方を知ろう！プロから学んで速く走れる！『走り方教室』」について、結果はいかがでしたでしょうか。参加人数や今後のご予定、反響について教えてください。

谷口委員

参加者については、15名の定員いっぱいの方にご参加いただきました。

最初にストレッチを行い、講座を受ける前と受けた後でタイムを計測しました。最後は自宅でできる走り方に特化したトレーニング方法を伝授していただき、500円の参加費で盛りだくさんの内容でしたので、参加した子ども達にはとても喜ばれましたし、見ていた保護者の方々にも大満足していただくことができました。講座が終わった後も先生からマンツーマンでのアドバイスを受けている子もいました。

今回は大阪いずみ生協とまとちゃん福祉基金の助成を受けたイベントでしたので、今後もし我々の団体だけで主催することになると参加費を増額しないと開催が困難ということは現状としてあります。イベントは楽しく開催できたと思っています。

中村委員

講師となった先生はどちらの方でしょうか。

谷口委員

理学療法士の方です。走り方を専門としてはいらっしゃいませんが、体の使い方の指導や、ダイエット教室をしている指導者の方でしたので、指導の仕方もそのように感じました。

中村委員

体育の先生ではなかったのですね。

谷口委員

体育の先生ではありません。筋骨隆々な先生でした。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

無いようでございますので、以上で報告第7号を終わります。

次に、報告第8号「泉南地区教職員組合要求書に対する回答について」を議題といたします。報告をお願いします。

山岡教育総務課教職員担当参事

それでは、私より、去る1月27日に泉南地区教職員組合から提出されました要求書に対して教育委員会事務局として回答した内容を報告させていただきます。

報告資料8をご覧ください。

内容は、項目が6項目あり、61の労働条件や教育諸条件の改善、あるいは教育制度についての要求となっています。

左側が要求項目で右側が要求に対する回答となっており、朱書き部分が昨年度から追加・変更のあった要求です。

去る令和7年2月27日に泉南地区教職員組合に対して回答を行っております事をご報告いたします。よろしく願いいたします。

奥教育長

ただ今の報告について、ご意見ご質問がございましたらお願いします。

無いようでございますので、以上で報告第8号を終わります。

続いて議案審議にうつります。

議案第2号「教育に関する事務の点検及び評価報告書について」を議題といたします。説明をお願いします。

鍵埜教育総務課長

議案第2号「教育に関する事務の点検及び評価報告書について」ご説明いたします。

議案資料2をご覧ください。

表紙をめくっていただきまして、「はじめに」でございますが、この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条第1項に基づきまして、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価をおこない、その結果に関する報告書を作成することとされておきまして、本市におきまして平成20年度から、この報告書を作成しております。

また、同条第2項には、「教育委員会は、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする」との規定がございまして、本市におきましては、元学校長で本市教育委員会事務局教職員担当参事を務められました神於 正博（この まさひろ）様と、元本市教育委員会事務局教育部長を務められました丹治 弘（たんじ ひろし）様に、学識経験者として評価委員をお引き受けいただき、各担当課とのヒアリング等を通しまして、評価に当ってのご指導やご助言をいただきました。

それでは、報告書の中身について、簡単にご説明させていただきます。

なお、資料につきましては、表紙、目次等のあと、6枚目から1ページとなっておりますので、よろしく申し上げます。

資料の4ページをご覧ください。

評価の方法としましては、第5次泉佐野市総合計画の施策体系を参考に、「観光に関すること」、「国際化に関すること」、「子ども・子育てに関すること」、「学校教育に関すること」、「生涯学習・スポ

ーツに関すること」に分類した各事業につきまして、事務局で所管する各課が自己評価を行い、全体評価を学識経験者の方にお願ひしました。

次に5ページをお開きください。

評価基準につきましては、Aの（順調）、Bの（概ね順調）、Cの（順調でない）の三段階で評価を行っていただきました。

内容としましては、「観光に関すること」が8事業、「国際化に関すること」が4事業、「子ども・子育てに関すること」が6事業、「学校教育に関すること」が36事業、「生涯学習・スポーツに関すること」が18事業の合計72事業について評価を行っていただき、評価Aが44事業、評価Bが28事業、評価Cは0事業との結果とされました。

時間の関係上、前年度と評価が変わっている箇所等に絞って説明させていただきます。

まず、令和5年度の事業で、18ページ以降に記載の「国際化に関すること」では、新型コロナウイルス感染症拡大のため未実施となっております、「ベトナム社会主義共和国ビンディン省との友好交流事業」「青少年海外研修事業」「英語教育推進校生徒派遣事業」「マラソン交流事業」の4つの事業につきまして、全て再開され、4事業ともにA評価をいただいております。また30ページから32ページにかけての、各小中学校の施設整備にかかる事業についても、A評価をいただいております。

なお、昨年度のB評価からA評価へ変更となった事業については、24ページ上段の「泉佐野市放課後児童健全育成事業」、29ページ中段の「教育委員会運営事業」、35ページ最下段の「おおさか元気広場推進事業」、38ページ上段の「泉佐野市の未来を創る教育事業」、39ページ中段の「教育支援事業」、44ページの「5中学校区の地域教育協議会の主な取り組み」、57ページ上段の「識字学級運営事業」の7事業で、令和4年度に比べ、事業の拡充などを行った取り組みが評価されました。

末尾、86ページから89ページにかけては、学識経験者の評価を記載しております。前半は、点検評価全体についての講評をいただき、後半は、箇条書きにて、各項目別にそれぞれの評価した点と課題を、挙げていただいております。

86ページには、総合評価についてご意見をいただいておりますので、後ほどご覧いただきたいと思ひます。

86ページの下段をご覧ください。

【観光に関すること】では、評価した点として、

- ・史跡等保存事業で、日本遺産推進協議会へ参画し、認定記念フォーラムやシンポジウムの開催、ICTを活用した普及啓発及び地域人材育成の取組み
- ・日本遺産「日根荘」・「北前船」・「葛城修験」推進事業により、国の認定を受けた3つの日本遺産の活用、発信
- ・「いずみさの検定」では、10歳以下のこどもの受験できるような柔軟に取り組みや積極的なPR
- ・市史編纂で収集した史料の活用

が、評価された点でございます。

課題としましては、

- ・小学校での歴史館見学や出前授業などの活用
- ・文化財の保存及び維持管理等について、地域や一般住民をはじめ文化財愛護推進委員との更なる連携協力

・文化財理解の拡大及び文化財施設等の実地見学等について、「出前授業」や「出張講演」等を通じて小中学校により積極的に働きかけ、歴史を使ったまちづくりの推進が、挙げられております。

次に、87 ページ中段をご覧ください。

【国際化に関すること】での評価した点につきまして、

・新型コロナウイルス感染症拡大により中止されていた国際交流事業の再開が、評価された点でございます。

課題としましては、

・国際情勢を考慮し、継続して実施してきた交流事業と新たな交流事業の検討が望まれる。
・デジタル技術を活用等、新しい形態の国際交流の推進が、挙げられております。

次に、同じページ下段をご覧ください。

【子ども・子育てに関すること】では、評価した点としまして、

・「留守家庭児童会の充実」では、待機児童を出さずに事業運営できていることが、挙げられています。

課題としましては、

・民間の大規模開発等による対象児童数の増加への対応とのご指摘がございました。

次に、88 ページ上段をご覧ください。

【学校教育に関すること】ですが、評価する点としまして、

・市費での全小学校での35人学級の実現
・トイレの洋式化改修、空調及びプールの整備
・学校教育課主催の教職員研修の内容が具体的
・家庭の教育機能総合支援について、家庭も含めた児童生徒の支援
・各小中学校の「いじめ防止委員会」「生徒指導委員会」「不登校対策委員会」「ケース会議」等にSC（スクールカウンセラー）・SSW（スクールソーシャルワーカー）が参加できる体制づくりを推進
・小中学校給食の実施にあたり、材料における地産地消、児童生徒からの応募献立等を継続による、残菜率・食品ロスの改善に向けた取り組み
・「いずみさの教育文化運動」の推進

が、挙げられています。

課題としましては、

・「いじめ防止」の施策の実現
・小中学校での食物アレルギーを持つ児童生徒の事故防止対策
・国、府への栄養教諭の適切な配置の働きかけ
・児童、生徒のスマホについて、教科書等を活用した、適切な利用指導
・震災に備えた学校内備品の転倒防止等の対策
・小中一貫教育の校区の実態に応じた取組の推進

が、挙げられました。

89 ページ上段をご覧ください。

【生涯学習・スポーツに関すること】で評価された点は、

- ・教育団体、文化団体への活動支援
- ・日本語、漢字等の学習を希望する外国人受け入れの事業推進
- ・図書館運営事業で、図書館利用者促進のための新しい市民サービスへの取り組み
- ・青少年関係団体との連携

が、挙げられています。

課題としましては、

- ・社会教育施設への社会教育主事等専門職の配置
- ・図書館の新刊書購入のための予算措置
- ・出前講座の講座数、受講者数の減少に対応するニーズの掘り起こしや内容等の工夫
- ・ジュニアリーダーとして活動できる環境づくり

等が、指摘された点でございます。

この評価報告書の結果を踏まえ、今後の事業の改善及び、より一層の進展に努めてまいります。
なお、この評価報告書については、ご承認いただいた後、議会に提出するとともに、ホームページにおいて公表してまいります。

説明は以上でございます。よろしくご審議いただきますようお願いいたします。

奥教育長

ただいま、教育総務課から説明がありましたが、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

令和5年度分の詳細な諸般にわたる各施策について、まず自己評価して、その後第三者に評価していただいたものですね。

中村委員

87ページに『いずみさの検定』では、10歳以下の子どもも受検できるよう柔軟に取り組み、泉佐野市の積極的なPRを行っている」という記述がありますが、実際に10歳以下の子どもが受検した報告はあったのか、また何人くらいの子も達が受検されたのかについて教えてください。

中岡日本遺産推進担当理事

顕著であったのは2年程前に、日本遺産日根荘についての漫画である「日根荘物語 意志を継ぐ者達」を受検者へのお土産として配布した回で、8歳の子もが受検して合格されました。毎年多くの子どもに受検していただけるように問題の難易度を下げているとしまして、今後も増やしていきたいと考えております。

奥教育長

他にございませんか。

事業が非常に多岐にわたっておりますので、よろしくようお願いいたします。

谷口委員

38ページの学校安全緊急対策事業の評価がBとなっており、また88ページにて学校教育に関する課題として、「防災の観点から、学校内の通路や、教室内の地震時倒壊の可能性のあるロッカー、備品等について転倒防止等の対策を講じていただきたい」と記載があります。学校安全緊急対策事業には防災に関することが含まれており、課題があったから評価がBになっていると思いますが、前回の教育委員会議において予算について説明がありましたが、これにまつわる費用について、予算要求されているのでしょうか。以前学校見学へ行かせていただいた際、図書について転倒防止のためロックをしておりましたが、こちらにはロッカーと記述があり、また別の対策が必要かとは思いますが、その予算を要求しているのかお聞きしたいと思います。

鍵埜教育総務課長

直接的にどのような備品を購入するためといった、具体的な予算を要求しているものではないですが、地震等があった場合に転倒防止に繋がるような備品や消耗品については、学校に一定の配分した予算の中から、買い揃えていただいているところがございます。この物品を必ず買ってくださいます等、購入するものの指定まではしていませんが、そのような備品や消耗品についても購入いただけるような予算配分をするため、現在予算要求を行っているところでございます。例えば、突っ張り棒であればおそらく消耗品の扱いになるかと思いますが、背の高い棚に突っ張り棒を挟む等の対策をしていただいております。校舎や教室の大きい改修があれば、ロッカーを転倒しない、造り付けのものに変更するといった対応をさせていただいていることもあるかと思っております。

谷口委員

予算の中から、実際に必要なものを学校判断で購入するということですか。

鍵埜教育総務課長

その通りです。どの部屋でどのようなものを使用するか等の詳細については、少額であれば、学校側で直接発注していただく形で実際に運用させていただいております。

奥教育長

学校がそのような対策を全てできているかどうかについては、点検しておりませんので詳細はわかりませんが、例えば2段に積んでいるロッカー等があれば転倒の危険性がありますので、そのような危険個所について何か必要な対策を実施することについては、今後また様々な指導をしていきたいと思っております。

他にございませんか。

中村委員

83ページ以降の青少年育成事業が評価Bとなっており、稲倉青少年野外活動センターの利用について、キャンプ場案を計画中との記載がありますが、現在利用されている方はいらっしゃるということですか。

洞青少年課長

令和4年度から開放しておりません。他の事業者のノウハウを取り入れる形でキャンプ場とする計画を検討中です。事業者が提案する侵入口や車の導線についての許可申請等、少し時間はかかっておりますが、粛々と進んでおります。

中村委員

今現在は立ち入り禁止の状態なのですか。

奥教育長

閉鎖しております。

中村委員

閉鎖なのですね。

奥教育長

他にございませんか。

山下委員

29ページの教育委員会運営事業の評価がBからAに上がっていますが、何か大きく変わった点があったのでしょうか。

鍵埜教育総務課長

18ページ以降の国際化に関することと同様に、これまで新型コロナウイルス感染症の拡大によって中止していた海外派遣等が再開し、教育委員の皆様にもご同行いただきました。これまで中止していた事業が再開したということで評価が上昇したと聞いております。教育委員の皆様にも令和5年度はベトナムやオーストラリアにご同行いただき、事業の評価としてはこちらに反映させていただいております。

奥教育長

教育委員会の円滑な運営についての評価がAに上がっているということですね。

鍵埜教育総務課長

教育委員の皆様にも海外交流へ積極的にご参加いただいたというところで、評価へ反映しております。

奥教育長

良いことだと思います。

他にございませんか。

甚野委員

83ページの指導者・育成者等研修事業につきまして、昨年中国の四川省への派遣に同行させていただいた際、ジュニアリーダーのお兄さん・お姉さん達をご参加されていて、子ども達が強く憧れるような存在になっていることを目の当たりにし、魅力あるジュニアリーダーのお兄さん・お姉さんが育成されていることを強く感じました。最近では子ども達の縦の繋がりや交流が減っているように思いますが、少し年齢が上であるジュニアリーダーのお兄さん・お姉さんたちと触れ合うことによって強い刺激を受けたようで、自分達も将来ジュニアリーダーになりたいと明言していた子ども達が何人もいました。ジュニアリーダーをもっと増やしていくことができれば、この時のように子ども達が憧れるお兄さん・お姉さんから良い影響を受け、その影響がどんどん広がっていくと思いますので、ジュニアリーダーをたくさん育成していただきたいと思います。また、様々な行事をもっと実施していただければ、子ども達の交流する機会も増えるため、さらに良い影響があるのではないかと思います。

奥教育長

ありがとうございます。そのような意見はまた今後参考にしてください。
洞課長は今の甚野委員からのご意見について、何か説明はありますか。

洞青少年課長

甚野委員のおっしゃる通りであると思います。現在、コロナ禍が明けてクラブの活動等が活発になったことで、中学生の子ども達はジュニアリーダーの活動とクラブ活動が重なってしまい、主たるリーダーとなる子ども達が引き続き積極的に活動することが厳しい近況になっております。青少年課ではプレイルームという体育館のように活用ができる場所を小学生に無償で開放しており、利用される子ども達の中には小学校6年生の子どももいますので、やがて進級する子ども達にはジュニアリーダーにならないか勧誘させていただいております。

奥教育長

このようなことは非常に大事なことで、ジュニアリーダーになってくれている子どもにとって、ジュニアリーダーは自分の居場所になっている部分もあります。意欲的に参加できるようにまた呼びかけ等よろしく申し上げます。

中村委員

同じく83ページの指導者・育成者等研修事業について、ワクワクふれあいハイキングの参加者数が令和5年度で251名、令和4年度で225名と記載されていますが、こちらは保護者を含めた人数ですね。児童・生徒やジュニアリーダーの人数だけではありませんよね。

辻本学校教育課学校指導担当参事

こちらの人数については保護者等も含めた総数になります。

中村委員

ジュニアリーダーが全員参加されたかどうかはわかりませんよね。

洞青少年課長

少ないですが、ジュニアリーダーは3名参加しました。私も初めて参加させていただきました。
団員自らアピールして、小・中学生を中心にご参加いただき、喜んでいただきました。

奥教育長

他にございませんか。

本日はこれでご意見・ご質問等は終わりますが、また気が付かれたこと等がありましたら、おっしゃっていただければと思います。

議案第2号「教育に関する事務の点検及び評価報告書について」は、原案どおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

ご異議ございませんので、本議案は、原案どおり承認することに決定いたしました。

続きまして、議案第3号「教職員の人事異動について」を議題といたします。

人事案件につき、非公開が適当と考えますが、ご異議ありませんでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

ご異議がございませんので、本議案は非公開とさせていただきます、後ほど議事を進めて参ります。

続きまして議案第4号「泉佐野市就学援助費支給要綱の一部改正について」を議題といたします。
説明をお願いします。

長田学校教育課長

議案第4号「泉佐野市就学援助費支給要綱の一部改正について」、ご説明いたします。

まず、新旧対照表をご覧ください。

今回の改正につきましては、国の改正に合わせ、新入学準備金と新入学学用品費の項目を新入学学用品費等の項目に整理したことに係る変更及び文言の整理によるものです。

これまでは、入学前に支給する新入学準備金と入学後に支給する新入学学用品費として、同じ内容のものを支給時期により違う項目として整理していたものを、新入学学用品費等という項目に一つにまとめて整理したものです。また、国の運用変更に合わせて、学用品費についても入学前に支給することができるよう変更したことにより、第4条及び第8条の内容を修正しております。

また、文言の整理につきましては、表記の整理等を行い、第3条及び第5条の内容を修正しております。

続きまして、資料についてご説明いたします。

資料1をご覧ください。こちらは過去6年間の就学援助認定者数の推移の表となっております。表の最下段、認定率につきましては、平成30年度に認定基準を生活保護基準の1.5倍に拡大してから令和3年度までは19%台で推移しておりましたが、令和4年度に認定基準を生活保護基準の2倍へ引き上げましたところ、令和4年度は23.8%、令和5年度は24.9%と大きく伸び、令和6年度には生活保護基準の2.22倍とさらに引き上げましたところ、2/21時点で28.0%とさらに伸びている状況となっております。

次に、資料2をご覧ください。こちらは一般的な学年ごとの支給上限額の一覧となっております。学校給食費と医療費は実費となっており、学校給食費は令和6年度の実績額を記載しております。前年度からの変更箇所は網掛け部分となり、オンライン学習通信費が14,000円から15,000円に、小学校の新入学学用品費等が54,060円から57,060円に変更となっております。また、表欄外※2に記載しておりますように、新入学学用品費等及び学用品費につきましては、令和8年度入学対象者からは入学前に支給できることとなっております。入学準備金や就学旅行費など特定のもの、現在無償化となっております給食費を除きますと、小学校で約3万円、中学校で約4万円となっています。

次に資料3をご覧ください。

こちらは参考資料となりますが、上段の表は、生活保護基準倍率ごとの小・中学校別の対象者数を記載しており、1.5倍まで、1.5倍から2.0倍まで、2.0倍から2.22倍までと非該当の4区分の対象者数を記載しております。

また、下段の表には、令和6年4月1日時点の基準倍率別、世帯別の所得金額を記載しております。

なお、本要綱改正につきましては、令和7年4月1日からの施行を予定しております。

説明は、以上でございます。ご審議の上、ご承認賜りますようよろしくお願い申し上げます。

奥教育長

ただいま、学校教育課から説明がありましたが、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

泉佐野市の支給額は全て国の基準に併せていますね。

長田学校教育課長

国の基準に併せております。

奥教育長

修学旅行費について、小学校の分がもう少し増額できれば学校が助かると思っておりますが、なかなかそこは難しいですね。

長田学校教育課長

その通りです。

奥教育長

オンライン学習通信費は1,000円増額したのですね

長田学校教育課長

おっしゃる通り、1,000円の増額となっております。

奥教育長

他にございませんか。

中村委員

私は現役の小学生の保護者ではありませんので、現在の事情は私が小学生の保護者であった10年前と異なるかと思って質問しますが、今日聞いてきたお話で、小学校の給食で使用するエプロンは、個人で購入するようになっているということをお聞きしましたが、それは泉佐野市のことでしょうか、それとも近隣の自治体でのことでしょうか。

奥教育長

今はどうなっているのでしょうか。

中村委員

個人で買うようになっているのですか。

奥教育長

谷口委員のご家庭はどうでしょうか。

谷口委員

第一小学校の場合のみになりますが、元々学校の備品として用意されている給食エプロンはありましたが、コロナ禍が拡大した際、他者とエプロンの共有に抵抗がある場合は個人でエプロンをご購入くださいと案内がありました。私の家庭は気にしなかったため学校の給食エプロンを使わせていただいておりますが、購入されている家庭が多くいらしゃったことで、結局私の家庭は学校の給食エプロンを個人使用している形になっています。

奥教育長

第一小学校では購入について各ご家庭の判断に委ねられているということですね。

谷口委員

各ご家庭に判断を委ねると案内されていますが、コロナ禍が緩和されておりますので、また来年度はどういった案内をいただけるかはわかりません。第二小学校では購入することになっているという話を聞いたことがあります。

奥教育長

形部委員のご家庭ではどうでしょうか。

形部委員

子どもが学校で必要な物品の購入は妻に任せているため詳細はわかりませんが、学校備品のエプロンを洗濯して返却していたかと思います。

奥教育長

学校の給食エプロンを給食当番で1週間用いた後、持ち帰って洗濯し、学校に返却する形になっていたかと思います。

中村委員

購入についてはどうですか。

奥教育長

購入しなくても良いと思います。自分が給食当番で使用したエプロンをきれいにして返却すれば良いだけの話ですね。

中村委員

エプロンの価格はおいくらほどでしょうか。

辻本学校教育課学校指導担当参事

申し訳ありませんが、価格についてはわかりません。そのあたりの状況については全く把握しておりませんので、また確認いたします。

中村委員

今日のお話では、小学校に入学する際にエプロンを購入する必要がありますが、1年生の身体に合わせて購入しても、成長して身体が大きくなるため、買い換えなければならないということでした。そのエプロン代も就学援助費の中に含まれているのかどうかという、細かな質問になりますが。

奥教育長

個人でエプロンを購入する必要がある場合、その費用が就学援助費に含まれているという考え方ではなく、就学援助費として支給されたお金から購入していただくという考え方になります。

山下委員

給食エプロンの購入費用まで就学援助費に頼るのではなく、各ご家庭で購入してはどうですか。

中村委員

実際に困っているご家庭がいらっしゃいますので。

山下委員

これらのことを考慮し始めてしまうと、極端な話ですが靴や服までも学校で使用するからと理由をつけて就学援助費で支給しなければならなくなりますので、ある程度のは各ご家庭で購入すべきかと思います。

奥教育長

現在はそのような方向になっているでしょうね。

中村委員

また個別で質問します。

奥教育長

他にございませんか。

無いようでございますので、議案第4号「泉佐野市就学援助費支給要綱の一部改正について」は、原案どおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(各委員 「異議なし」の発言あり)

ご異議ございませんので、本議案は、原案どおり承認することに決定いたしました。

続きまして、議案第5号「令和7年度泉佐野市教育委員会重点施策について」を議題といたします。説明をお願いします。

長田学校教育課長

議案第5号「令和7年度泉佐野市教育委員会重点施策（案）について」、ご説明いたします。

説明は、別添「主な変更内容」でさせていただきます。「主な変更内容」には、頁及び主な変更項目を記載しています。文言や表記上の変更につきましての説明は、省略させていただきます。なお、黄色マーカー部分が追記箇所、赤字見え消し部分が削除箇所となります。

まず、全体を通じて、「障害」の「害」を漢字表記からひらがな表記に変更しております。

次に、【基本姿勢】ですが、大きな変更はありません。

次に、【学校教育について】、5ページから6ページの「ローマ数字2 学校教育環境の整備充実について」ですが、令和7年度に予定している学校施設改修内容を記載しています。

続きまして、7ページの「ローマ数字4 適正な教育課程の編成及び有効な学習指導について」ですが、前書きの第2・第3段落部分を、『社会背景が大きく変わっていく時代をむかえ、学習指導においても変化が求められている。一人一人の児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが必要である。その資質・能力を育むためには、学習指導要領の着実な実施が重要であり、ICTの活用はこれからの学校教育を支える基盤的なツールとして必要不可欠なものである。この基本的な

考え方のもと、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善につなげていくことが必要である。』と変更しております。

続きまして、主な変更内容には記載がありませんが、8ページの(4)①の2行目の『重視するとともに』を、『や児童生徒が自ら問いを立て、情報収集や意見交流などを通じて解決に向かう探究学習など、』に修正しております。

続きまして、8ページから9ページにかけての、(6)の最後の部分に『また、整備後5年が経過することから、文部科学省が進めるGIGAスクール構想第2期に向け、1人1台端末の更新を着実に進め、更なる利活用に対応するため、通信環境の整備等に努める。』という文言を追記しております。

続きまして、9ページから10ページにかけての、(10)外国語教育について、最後の英語学習に係る部分を追記・修正しております。

続きまして、(11)では、現在の部活動の地域移行に対する状況や令和6年10月に改定して『設置する学校に係る部活動の方針』に合わせた内容に追記・修正しております。

続きまして、少しページが飛びますが、18ページの「ローマ数字8 生徒指導の充実について」ですが、前書き部分の2行目の『伸長を図りながら、社会的資質や行動力を高める』という表記を、『発見とよさや可能性の伸長を図りながら、社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支える』という表記に修正しております。

続きまして、19ページの(3)暴力行為等の問題行動について、一つ目の文章のあとに、『また、大阪府教育委員会が作成した「問題行動への対応チャート」(平成25年8月)、泉佐野市教育委員会が作成した「レベルに応じた問題行動への対応チャート」(平成30年3月)を参考に、場合によっては警察とも連携する。なお、』という文言を追記しております。

続きまして、21ページの「ローマ数字10 健康教育の充実と体力づくりの推進について」ですが、主な変更箇所に記載しておりますが、文言の整理のみの修正となっております。

次に、【社会教育について】、27ページの「ローマ数字3 健康の増進、スポーツ活動について」の(3)では、競技人口の増加に係る内容について、追記・修正しております。

続きまして、「ローマ数字5 図書館の活動について」の(6)では、主な変更箇所に記載しておりますが、学校図書館・市立図書館についての文言の整理のみの修正となっております。

最後に、【文化財について】、28ページの「ローマ数字1 文化財の保護と活用の推進について」の(1)の2段落目の2行目後半からの部分を、『引き続き大木コスモス園の開園による普及啓発の他、上大木の東ノ池からヤナブ吊り橋までの棚田地区旧耕田については、農林水産課、給食センターと連携し、景観に配慮したオーガニック栽培として整備し、給食等に提供するなど地域の活性化を推進する。』という表記に修正しております。

続きまして、29ページの(5)では、3行目に『佐野中学校北前船壁画による日本遺産の認知度向上とともに、』という文言を追記しております。

続きまして、(9)日本遺産について2行目後半以降の表記を修正しております。

続きまして、「ローマ数字2 歴史館について」の(6)『大阪・関西万博、鉄道のまち泉佐野関連の展示、浮世絵美術館との連携を図り、多様な展示の機会を創出する。』を追記しております。

説明は、以上でございます。

ご審議の上、ご承認賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

奥教育長

ただいま、学校教育課から説明がありましたが、ご意見、ご質問等がありましたらお願いいたします。

山下委員

昔、「子供」の「供」という漢字をひらがなの「ども」に変更しましたが、今の説明で「障害」の「害」という漢字をひらがなの「がい」に変更するとありましたが、これは国から示されている何らかの指針等を受けての変更でしょうか。

渡辺学校教育課人権教育担当参事

特に法律等で決まっているというものではなく、やはり人権意識が進歩する中で、「障がい者」という言葉については人を表現するものになりますので、その標記に「害」というマイナスのイメージがある言葉が含まれていると、その人を表す言葉としては相応しくないと考えて、ひらがなを用いている自治体が増えてきていると思います。

例えば、障害者差別解消法といった条例の表記や団体名、障害物競争等の競技名については「障害」という漢字を用いているかと思いますが、人を表すものについては「障がい」とひらがなで表記することが増えてきていると思います。

奥教育長

人権の面できちんと対応するという意味合いもあります。最近ではこの表記がほとんどになってきていますね。

渡辺学校教育課人権教育担当参事

その通りです。

中村委員

福祉の分野では当たり前ですよ。

奥教育長

よろしいですか。他にございませんか。

石崎委員

29ページの下部で、「将来、日本遺産ミュージアム等拠点施設を整備し」と記載がありますが、現在そのような計画はあるのでしょうか。

中岡日本遺産推進担当理事

現在、3月議会に上程しておりまして、既存の建物を改修したり、新規に建物を建設したりといった拠点施設の整備について検討する計画を策定する予定です。

石崎委員

前回の教育委員会議にて、日本遺産の指定取り消しとなってしまった事例があるとお聞きしましたが、そのような事態にならないためには拠点施設を整備する方が良いということでしょうか。

中岡日本遺産推進担当理事

もちろん石崎委員がおっしゃる通りであります。また、正直なところ歴史館いずみさのだけでは3つの日本遺産について同時に対応するには負担が大きすぎるということもありましたので、3つの日本遺産について解説できる施設をどこかに設置したいと考えております。範囲が広いため、協議会では、市内に拠点となる施設を増やし、面的にカバーするような方向で考えております。

石崎委員

世界かんがい施設遺産についてはどうでしょうか。

中岡日本遺産推進担当理事

世界かんがい施設遺産についてはこれまで看板を設置しておりませんでしたので、来年度設置する予定としております。また保全計画を策定し、「樫井川流域の荘園水利施設」といった名前になるかと思いますが、世界かんがい施設遺産を含んだ世界農業遺産という、さらに上位の遺産への申請を行うことを考えております。計画書をまとめ、2年に1回ある申請の機会に合わせ、令和8年度当初に申請する予定です。そちらについては上大木の棚田のあたりが中心となると考えております。

石崎委員

ありがとうございます。

奥教育長

そのようなことを含めた意図でミュージアム施設を整備するということですね。

中岡日本遺産推進担当理事

その通りです。複雑化してきておりますので、統一できる施設が必要だと考えています。

奥教育長

構成文化財も増えてきていますね。

よろしいですか。他にございませんか。

無いようでございますので、議案第5号「令和7年度泉佐野市教育委員会重点施策について」は、原案どおり承認することとしてよろしいでしょうか。

(各委員 「異議なし」の発言あり)

ご異議ございませんので、本議案は、原案どおり承認することに決定いたしました。

続きましてその他で何かございますか。

無いようですので、本日の委員会に付議されました議題はすべて終了いたしました。

次回の4月の定例教育委員会議は令和7年4月3日木曜日、午後2時00分から、市役所4階庁議室で開催いたします。

それではこれをもって本日の会議は終了いたします。

(午後16時40分閉会)